

令和4年度愛媛地方最低賃金審議会  
第2回愛媛県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業  
最低賃金専門部会議事要旨

|  |                             |       |       |
|--|-----------------------------|-------|-------|
| 開催日時   | 令和4年10月6日(木)午後3時25分～午後4時50分 |       |       |
| 場所   | 松山市民会館第4会議室                 |       |       |
| 出席状況   | 公益代表委員                      | 出席 3名 | 定数 3名 |
|  | 労働者代表委員                     | 出席 3名 | 定数 3名 |
|  | 使用者代表委員                     | 出席 3名 | 定数 3名 |
| 主要議題   | 1 資料説明<br>2 金額審議<br>3 その他   |       |       |
| <p>議事要旨</p> <p>本会議は 公開・非公開</p> <p><b>1 資料説明</b></p> <p>金額審議に資する資料について、事務局から説明を行った。</p> <p><b>2 金額審議</b></p> <p>労側委員からは、電機産業の継続的な発展を支える優秀な人材を確保すること、金属部門製造業における、はん用機械や造船の特定最低賃金との格差を是正すること、半導体や蓄電池等の需要増から、電機産業全体の雇用は増加していること等の意見が表明され、事業場内最低賃金労働協約の最下限額にまで引き上げること为目标に、金額提示がなされた。</p> <p>使側委員からは、電機関係の特定最低賃金額は、四国や全国Dランク県の中では愛媛が最も高く、関係企業の県外流出の要因となりかねず、産業別最低賃金の全国加重平均908円を上回る大幅な引上げは要しないこと、光熱費と材料費が高騰し、中小企業は、半導体、樹脂等の原材料不足に悩まされ、そのコスト上昇分を価格転嫁できない状況があること等の意見が表明されたが、物価上昇で特定最低賃金の一定の引上げも必要とし、金額提示がなされた。</p> <p>労使各側の意見の隔たりがあり、部会長は、各側に対し結審に向けて再考を促した。</p> <p><b>3 その他</b></p> <p>今後の審議日程について、事務局から説明を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |                             |       |       |